

# 四條の風学園ニュース

平成 31(2019)年 3 月発行

平素は、四條の風学園の教育活動にご理解、ご協力いただきありがとうございます。

来年度から本格的に小中一貫教育がスタートしますが、今年度はプレ実施と位置づけ、様々な取組を行いました。東大阪市の小中一貫教育の方針に照らし合わせ、本学園の取組を紹介します。

## ○ 学園教育目標、めざす子ども像、学園章について

学園教育目標

地域を愛し 心豊かに たくましく



縄手中学校



上四条小学校



縄手小学校

めざす子ども像

意欲と自信をもって自ら学ぶ子ども

～地域で育ち、地域を愛し、社会で活躍する子ども～

学園教育目標は、三校の学校教育目標とめざす子ども像を踏まえて決定しました。また、学園章は、風車をモチーフとし、三校の学園カラーである青色をベースに作成しました。学園章は、2020 年度から統一される半袖体操服のロゴとして用いるなど、様々なところで活用していく予定です。

## ○ 未来市民教育(夢 TRY 科・四條の風タイム)について

来年度からの小中一貫教育で、特に重きを置いているのが、未来市民教育です。

これまで小学3年生から中学3年生まで時間割に位置付けられていた総合的な学習の時間が「未来市民教育」となり、市独自教科の「夢 TRY 科」とこれまでの総合の取組を行う「四條の風タイム」に分かれます。

夢 TRY 科は、年間 15 時間テキストを用いて授業を行います。テキストの中身については、各校で児童生徒に配布したリーフレットに詳しく書かれていますので、お時間のある時に読んでいただければと思います。地域にはポスターを貼っていますので、是非そちらもご覧ください。



## ○ 東大阪小中一貫教育の重点実施項目について

特に大切にしている実施項目として、先に述べた未来市民教育の他に、以下の3つがあります。

- ① 6年生の中学校登校実施
- ② 6年生の一部教科担任制実施
- ③ 5・6年生への定期テスト実施

①については、今年度は8回、両小学校同時に中学校登校を実施しました。毎回実施しているアンケートでは、6年生の多くが「中学校の施設やルールに慣れた」「学校への入学が楽しみである」と答えており、中学校入学への不安の解消につながっています。また、中学生と交流する機会も多くあり、先輩への憧れを感じる機会にもなりました。来年度は10回を予定しています。

②については、小学校によって実施教科は異なります。例を挙げると、6年1組の担任が1・2組の国語を、6年2組の担任が1・2組の算数を教える、ということです。学級担任を中心としながら、学年・学校で子どもたちをていねいに見ていくことにつながります。

③については、小学校ではあまり馴染みがない言葉だと思います。小学校では、学んだ単元のみが出題されるテストが中心で、中学校では、一定期間学んだことがまとめて出題される定期テストが中心です。

- 中学校の定期テストの形式に慣れ、中学入学後のつまずきを防ぐ
  - まとまった学習内容の問題に対応する学習方法を身につける
- 上記2点をねらいとし、6年生で定期テストを実施しています。5年生については実施検討中です。



## ○ 学園教職員の取組について

小中一貫教育を実施するにあたって最も重要なことは、教職員の連携です。これまでは、小学校の教職員は6年間、中学校の教職員は3年間、それぞれで子どもたちの教育に携わっている感覚が強かったのですが、どんな子どもたちに育ってほしいかという「めざす子ども像」を意識し、**9年間を見通して子どもたちの成長に関わっていく**、ということ意識して日々教育活動を行っています。

先日行った教職員研修会の感想を紹介します。今後も、学園の子どもたちのために日々尽力します。

1つの視点だけではなく、様々な視点から児童生徒を育てていく必要があると感じました。指導者の立場である者同士が、心を開き、考え方や思いを交流し合うことで、風通しの良い学園づくりができていくと思います。

小中一貫教育は、学校・保護者・地域が一体となって子どもたちを見守っていく取組です。地域に根ざし、地域に開かれた学園となるよう、教職員が協力し合い、取組を進めていきます。

<学園ホームページの紹介>

縄手中学校のホームページ内に、学園のページを作成しました。是非ご覧ください。

